

一般質問

ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

町長の 選挙公約の実現を問う！



質問者
利根川 茂 議員

本山町長の任期は、あと1年と6ヶ月となり、平成25年9月の選挙で町民に対し公約されたものについて、その実現された状況をお伺いします。

- (1) 人口減少に歯止めをかけると言われたが、その結果はどうか。
- (2) 臨時財政対策債など借金額を増加させないと言われたが？
- (3) スマート・エコタウン

臨時財政対策債とは

地方交付税の財源が不足した場合に、その補てんとして自治体が地方債(借金)を発行できる制度。償還に要する費用は、後年度の地方交付税で措置される。

A

公約は着実に進めます

回答(町長)



(1) 最新の国勢調査では、平成7年の人口ピーク時の13270人より約2100人の減少となっているが、平成27年度中の社会増減では、1人のみの減となっている。一時より人口減に歯止めがかかったとの認識をしている。

ン構想は、どの程度進んでいるのか。

今後とも、不育治療助成や定住促進を図るための住宅地開発支援などを進めていく。

(2) 臨時財政対策債などは、平成24年から28年にかけては、5年連続下回っており、公債比率も国が定める基準の25%を大

地方創生に向けた町の 取り組みを問う



質問者
中野 博 議員

(1) 人口減と少子高齢化、全国の自治体が多く

の課題を抱えている中、わが町でも扶助費や義務的経費も高止まりし、財政の硬直化を招いています。国が地方創生の一環として、平成27年度中に求めていた人口ビジョンと総合戦略の策定は？

(2) 再燃化されてきた合併問題についての考えは？

きく下回り、6・8%になっている。

(3) 小水力・太陽光等の発電や、バイオマスなど再生可能エネルギー導入等々、平成29年度に計画・一部事業化に向けて更なる推進を図っていく。

A

松田町の将来のために

回答(町長)



(3) 「松田ブランド認定委員会」について。

(1) 松田町の人口ビジョンは、平成52年の人口1万人を目標とし、総合戦略の中で少子化対策として、保育一歩への対応・子育て家庭の経済的負担軽減の取り組みをする。

将来の目標人口を実現するために、住環境・子育て環境・快適に暮らせる環境・産業交流つくりの4つの基本目標を定める。

(2) 小田原・南足柄2市の動向を注視しながら、まずは足柄上郡でしっかりと議論し、しかるべき時期を迎えたときの対応について研究を行う。

時流に流されることなく、じっくりと見極めて冷静な判断をしたいと考えている。

(3) 認定委員会により、事業者が製造販売する商品の中で、自慢の逸品となる商品を厳選し、高い評価を得た商品を認定して「松田町に行きたい・住みたい」というイメージを創出していく。